

2023

5

8月

土曜

入場  
無料  
FREE

TOKYO 青梅



ナツ や さい

# 夏夜彩

START  
16:00  
21:30  
END

雨天の場合、  
8/27へ延期

会場

霞川五反田橋広場  
(青梅市木野下2丁目)  
※駐車場はございません



青梅の空へ4年ぶりに夏の花が咲く夜、  
少し離れた小川のほとりに光が集まります。

川面に灯籠、夜空にランタン

灯籠流し、夜空に浮かぶランタン、夜の出店、会場を  
やさしく照らす竹灯籠。この街にかつてあった祭りも  
モチーフにした、ナツかしくあたらしいナツまつり。  
青梅に住んでいる人はもちろん、これから青梅の事を  
知りたいと思っている人たちにも「この街の魅力」を  
伝えたい。  
やわらかな灯りで夏の夜を彩るナツやさい。  
賞味期間はわずか一日です。

ながつかくて  
あたらしい  
まつり、やります。

みんな  
で、つくるまつりです

16:00  
開場

夜のマルシェでワイワイ、舌つづみ  
何があるかは当日のお楽しみ。

受付開始  
17:00  
150組  
1500円

事前申し込みが必要です

灯籠に願い事を書いて川へ流そう

青梅のかつての風物詩、灯籠流し。  
一人ひとりの願いが灯り、川面に揺れます。

灯籠流し  
申し込み



START  
18:30  
100組  
無料

申し込み不要

ランタンに願い事を書いて夜空へ飛ばそう

夜空に浮かぶランタンを100個ご用意しました。  
光源はLEDですので、お子様でも安心です。

お問い合わせ  
こちらまで





# について知ってほしい、3つのこと



## 青梅市に残る田園地帯“木野下”のこと

青梅市は東京都の西側で広がる森林地域の入り口にあります。中心市街地は江戸時代に宿場町として栄え、最盛時には400を超える宿が軒を連ねた事もありました。現在でも街のあちこちに当時の面影が残り、その「ちょうどいいレトロ感」がこの地を訪れる観光客にノスタルジーを湧きたたせております。木野下はそんな青梅にある都内でも屈指の広大な田園地帯。宿場跡が残る市街から東北東へ4キロほどのところにある町です。

### 木野下

その形からイノシシに例えられる事もある青梅市(小学校でそのように教わる事も多いです)。そのイノシシで言うと「眼」にあたる位置に木野下はあります。

## 木野下の田んぼのこと

木野下の広大な田園風景にはちょっとばかり目を見張るものがあります。春の休耕期は緑豊かなパッチワークに鳥や虫が戯れ、初夏には水をたたえた田んぼに稲苗がそよぎ、秋には黄金色の稲穂たちが豊かにうねり、そしてそのいずれの季節にも遠くから見守ってくれている雄大な富士山と奥多摩の山々の姿。その風景に魅入られ、カメラや絵筆を持ってここを訪れる人々も少なくありません。近年ではこのエリアの真ん中を流れている霞川兩岸の遊歩道がきれいに整備され、毎日多くの人々が散歩やジョギングで行き交うようになりました。しかしその足元に広がる田んぼの多くは深刻な問題を抱えています。農家の高齢化などの理由もあって耕作放棄が進み、雑草が生い茂る田んぼも目立ち始めたのです。

## 木野下の田んぼを愛する会のこと

木野下の田んぼをそんな状態から救おうと立ち上がったのが「木野下田んぼを愛する会」です。田んぼ周辺の地元有志を中心に結成されたメンバーそれぞれは別の職に就きながらも、とにかく農業を楽しみながら田んぼに息吹を入れ続け、田んぼの維持ついでに地域の活性化もやっておこう！というモチベーションのもと、泥んこ運動会・田植えや稲刈りの体験・田んぼマルシェなどのイベントを継続的に開催しています。そしてそのイベントの楽しさが様々な形で伝わり広がって、市内はもちろん市外の人たちからも木野下は「ちょっと気になる田んぼの町」的な地域として認知され始めました。

## 初開催の”夏夜彩”

このチラシでご案内させていただいている“夏夜彩(なつやさい)”は、木野下田んぼを愛する会でも初めて開催するイベントになります。ふとある時に会のメンバーたちが口々に語った「夏の懐かしい思い出」をギュッと丸めてみたら、なんとなく楽しいイベントになるかも…と言うところに端を発したこの企画には、かねてよりこの地域で暮らす方々と移住されて来た方々との交流の場として、さらには移住をご検討されている方々たちへの一助となるようなテーマを持たせ、青梅市役所にもご協力いただける運びとなりました。中でも灯籠流しについては、かつてこの青梅を流れる多摩川で毎夏行われていたその催事を霞川と言うステージに代え、当時の規模とは行かずとも「あの頃」を偲ばせるようなひと時を再現したいという一心で準備中を進めています。

ナツかしいナツの夜を彩る祭り、なつやさい。

この夜祭りが、参加された皆さんそれぞれの「夏の思い出」として灯り続けますように。